



版画Fan

Vol. 57

2018年秋・冬号

企画展

ヨルク・シュマイサー 終わりのなき旅

2018年9月15日(土)～11月18日(日)

観覧料：一般＝800(600)円／大学・高校生＝400(300)円、
65歳以上＝400(300)円、中学生以下無料

※()内は20名以上の団体料金

※9月15日(展覧会初日)と11月3日(文化の日)は入場無料



《カンポ広場、シエナ》 1983年 銅版画 個人蔵

ヨルク・シュマイサー(1942-2012)は世界を舞台に活躍したアーティストです。ドイツ出身で、日本に留学したのちオーストラリアに移住し、「旅する版画家」と称されるように、世界各地を訪ねた経験を版に刻みしました。その足跡は欧米、中東、アジア、そして遂には南極にまで及んでいます。

しかしシュマイサーはただ旅先の風景を描いた画家ではありません。めぐる季節のなかの清水寺、漂流し崩壊しダイナミックに姿をかえていく南極の冰山、春の訪れとともに芽吹く新芽—マクロからミクロまで、全作品の底流をなすテーマが「変化」です。自分と世界に起こる変化を、深い思索とともに捉えることに彼は生涯をかけたのです。初期から晩年までの代表作約180点により50年に及ぶ創作の全貌をご紹介します、逝去後初の本格的な回顧展です。ぜひご来場下さい。

(学芸員 和南城愛理)

休館日：月曜日 ただし、9/17・9/24・10/8・12/24・1/14・2/11(月・祝)は開館
9/18・9/25・10/9・12/25・1/15・2/12(火)は休館、年末年始12/28～1/4休館

町田市立国際版画美術館友の会 第21回定期総会報告

4月21日(土)13時30分より第21回定期総会が版画美術館講堂にて開催されました。

すべての議案は可決、承認されました。審議終了後、「10年継続会員」紹介と記念品の贈呈、「企画展 ミニ・レクチャー」、そして恒例のティーパーティーに移り、和やかな歓談のうちに閉会しました。

10年継続会員の出席者は次の6名です。

荒井良一、市川恵子、海野政子、大森昭、川口喜世、川口ひさ子(敬称略)

「友の会記念品」に加えて、村田哲朗館長より感謝状と企画展招待券が贈られました。

今回のレクチャーは4/21より開催の開館30周年記念企画展「浮世絵モダン展」の解説でした。映像をとともなった滝沢学芸員の丁寧で分かりやすい解説で参加者は熱心に聞き入っていました。

なお、10年継続会員欠席者5名[日本宗教用具(株)、東京町田ロータリークラブ、高橋広満、三品隆司、山崎元子]の皆様には後日、記念品等を郵送しました。

美術館バス見学会 清春芸術村・平山郁夫シルクロード美術館

2018/6/7 実施

雨上がりの朝、美術館巡りのバスは甲斐の国へと出発。行く手は青空です。午前の参観は北杜市の「清春芸術村」。清春白樺美術館ではロダン、ルオー、梅原龍三郎らの作品を鑑賞。村内には煉瓦作り三階建ての円形集合アトリエ、ルオーのステンドグラスのある礼拝堂、安藤忠雄設計の「光の美術館」、樹上の茶室など様々な建築や屋外展示があり、まさに芸術のテーマパーク。濃い緑の中でアートを楽しみました。村内のレストランで昼食の後、午後の目的地、「平山郁夫シルクロード美術館」へ。仏像群に迎えられ、学芸員の方から展示のコンセプト、収集品の来歴などを伺ったのち、シルクロードシリーズ絵画と企画展「東北を描く」の奥入瀬、平泉などの作品を鑑賞。最後に青が映える作品「月の砂漠をいくキャラバン」の前で記念撮影をパチリ。平山ワールドを堪能しました。幹事様、両美術館の皆様、そして参加者の皆様、楽しい「美術館巡り」を有難うございました。



(友の会会員 岡崎仁志)

リトグラフの魔力

町田市立国際版画美術館友の会設立20周年記念事業「リトグラフ1日教室」

2018/6/22 実施

以前、他の短時間リトグラフ講習に一度だけ参加した事があったが、リトクレヨンを使っただけの記憶しかない。今回も一日だけなので下書きは簡単な物にしようと思ったが、描き出すとそうもゆかず、結局予想通り時間がなくて、バタバタになってしまった。午前中の一時間程度ではきびしく、昼食もそこそこにして作業を続けざるをえなかった。

リトグラフの魅力はタッチがそのまま生かされる所にあるが、今回初めて使った「とき墨」や「板クレヨン」の濃さは見た目と異なり、版の上ではほとんど着色されていないように見えるのに、インクをのせてみて実際の濃さに驚かされた。版画は実際に刷ってみないと分からない。また道具の経験や慣れが必要だとつくづく思い知らされた。そして、薬品や手順の複雑さは予想通り。同じ事を一人で再びやれる自信はない。それでも美術館の先生に根気よく指導していただき、何とか仕上げられたが、できればまたチャレンジ(リベンジ)したい。今回はアッと言う間に終わってしまったが、なかなか楽しかった。欲を言えば、もう少し時間が欲しかった。

(友の会会員 丸山三枝子)



第20回「ゆうゆう版画美術館まつり」開催

2018/10/6(土)・7(日)

(版画美術館・友の会共催)

催事内容(予定)

- ★チャリティ・アートバサール2018
- ★木版画摺り体験
- ★市域学生アートイベント
- ★ポスターデザイン原画展&表彰式
- ★友の会設立20周年記念講演会
- ★キッズ・アーツスペース
- ★プロムナードコンサート
- ★飲食・物品コーナーなど

「ゆうゆう版画美術館まつり」は、町田市立国際版画美術館を拠点に町田市内外に“美術を愛する人々の交流の輪”を拡げることが目的として行う、アートなイベント。今年度のコンセプト【enjoy! Art!】をもとに多彩なイベントが繰り広げられます。会員皆様のご協力と、多数のご来場をお待ちしております。

第19回会員展報告

2018/3/13～3/18開催

恒例の会員展が本年も開催されました。出展者54名
出品数105点(アートスクール講師作品を含む)。会期中天候にも恵まれ653名の来場者で賑わいました。今年もアンケート回収に力を注いだ結果、おかげさまで96通の来場者の声を集めることができました。

感想文には、レベルの高さ、ジャンルの多様さ、雰囲気の良い、など「すばらしい」との好評価コメントを沢山いただきました。皆様のご感想やご意見をもとに、より満足していただける会員展につなげる所存です。

会員展実行委員会一同

・予告 第20回記念会員展 <enjoy Art 20>
2019/3/12～3/17 開催予定

●私の一枚●

「すやすやと…」

丸山紀代子作

版画美術館を知って、町田はすばらしい地と思いました。

ある日、版画美術館で開催されていた萌美会主催の絵画展に行きました。そこに展示されていた丸山紀代子さんの絵



「すやすやと…」を見て、そこから動けなくなりました。一日中、見ていたい絵です。子供がその中で呼吸をしているような絵画です。その画風を初めて知り、その方の連絡先を聞いてすぐ、絵がほしいと気持ちを伝えました。その絵の中に、私が1歳から見ている孫の姿があったのです。70歳の私がもう少し若かったら習いたいと心より思いました。絵というものは人をここまで感動させてくれるものですね。

友の会会員 海野政子

各種講座・サークル予定

■絵画教室「やさしい水彩画講座」(全5回)

9/21午後・10/19午前・10/19午後

11/16午前・11/16午後

(定員15名申込終了)

■銅版画教室(全9回・募集要項9月発送)

12/8・15・1/12・1/19・1/26の各土曜午後

2/2・9の各土曜、午前と午後

■第21回美術館めぐり

2018/11/14(水)

「明治大学博物館」「阿久悠記念館」

「共立女子大学博物館」等

■友の会会員のサークル活動

▽木版画倶楽部 8月～19年1月予定

①カレンダー作成 11月完成予定

②ゆうゆう版画美術館まつりにおける摺り体験指導実施(版数4～5版)

③会員展用作品作り及び会員展準備

④木版画倶楽部総会(美術館まつり終了後)

⑤夏季作業計画検討(8月、暑気払い)

▽弥次喜多倶楽部

2018/10/31(水) 近隣の美術館巡り

「藤澤浮世絵館」「藤沢市アーツスペース」

事務局だより

友の会設立20周年記念事業途中報告

1. 20周年コンセプト＝enjoy Art 20

2. 諸事業に冠をつける

＝祝) 版画美術館開館30周年・友の会設立20周年

ロゴマークデザイン及びスタンプ作成＝木版画倶楽部担当

3. 「リトグラフ1日教室」＝6月22日(金)実施

参加者8名 (美術館学芸員指導協力有)

4. 「バックヤード見学会」＝11月初旬を予定しています。

5. 記念講演会＝講師：中林忠良氏

(東京藝術大学名誉教授・版画家)

講演タイトル：「一台の木製印刷機をめぐる」

ゴッホが使った銅板プレス機が日本に…

日時：10月7日(日)午後2時～3時30分

6. 第20回「友の会会員展」

2019年3月12日(火)～17(日)・市民展示室

友の会会員募集中！

《会の目的》・版画美術館の事業活動支援・会員の教養、親睦を深める・美術、文化および地域文化の向上

《主な特典》美術館企画展が会員証呈示で、無料で観覧、当館発行書籍の割引があります

《年会費》一般会員3000円(入会年5000円)・ファミリー会員2000円(入会年3000円)・学生会員2000円(入会年も同じ)・賛助会員1口10000円(法人・個人不問・口数任意・各種特典あり)※申し込みは友の会事務局へ

TEL・FAX 042-726-3051

ミニ企画展

～まちだゆかりの作家～

入場無料

赤瀬川原平・岡崎和郎・中里斉

常設展示室 9月5日(水)～12月24日(月・振替休日)

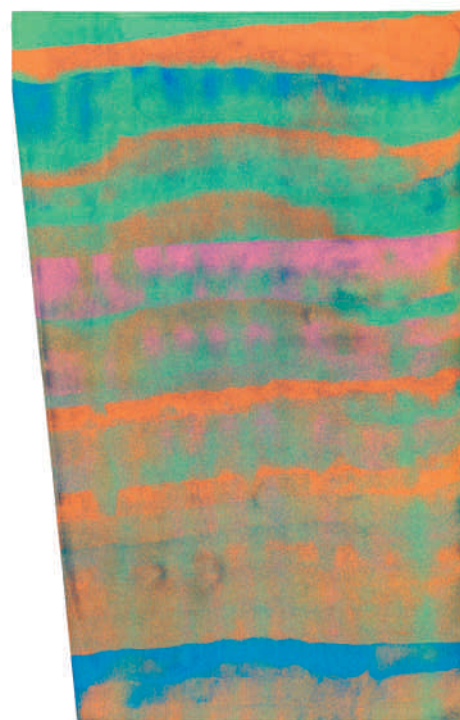
2016年度からはじめて町田市にゆかりのあるアーティストを紹介するミニ企画の3回目の企画です。

今回は3人のアーティストを取り上げます。共通しているのは、町田市にゆかりがあること以外は、1930年代生まれであること、そして戦後に美術の領域で先鋭的な創作活動を展開させてきたことです。

赤瀬川原平(1937-2014)は、1984年より町田市に住んで活動しています。1970年代から始めた、「不動産に付着しかつ美しく保存されている無用の長物」という定義を満たす「超芸術トマソン」の版画を展示します。

岡崎和郎(1930生まれ)は現在も町田市に在住して活動しています。茂みのなかの一葉だけをハサミでハート型に切り抜いて写真に収め、版画化した《H I T O H A》などを展示します。ハート型の一葉には樋口一葉のイメージが重ねられています。

中里斉(1936-2010)は、町田市で生まれ育ったアーティストです。1960年代よりアメリカを拠点に活動し、最小限のかたちと色彩で構成した絵画や版画を制作しました。砂遊びから発した砂を使用したシルクスクリーン版画などを出品します。ご期待下さい。



中里斉《モノド 砂5》2009年

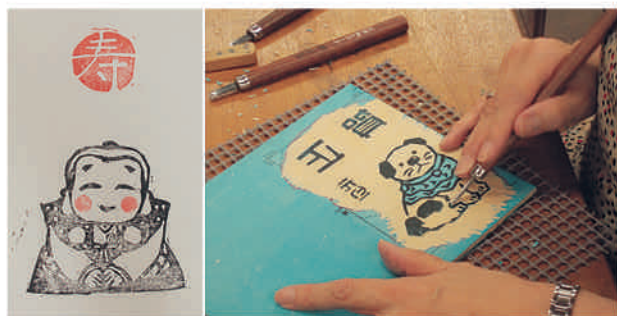
(学芸員 滝沢恭司)

◆第32回町田市公立小中学校作品展 2019年1月11日(金)～2月17日(日) 入場無料

版画美術館の新年を彩る展覧会です。小学生の豊かな想像力。大人顔負けの中学生の力作。文字の中に個性があふれる書写。3つの展示で総計8000点を超す作品が展示されます。ぜひご来場ください。

中学校美術作品展 1月11日(金)～1月20日(日) 休館日1/15(火)
小学校図画工作展 1月25日(金)～2月3日(日) 休館日1/28(月)
小学校書写展 2月8日(金)～2月17日(日) 休館日2/12(火)

◆国際版画美術館主催・木版画一日教室 ～手作りの年賀状～ 受講生募集のお知らせ



＜開催日＞ ①2018年12月4日(火) ②12月5日(水)
＜時 間＞ 午前10時30分～午後4時
＜会 場＞ 町田市立国際版画美術館 アトリエ
＜受講料＞ 3,000円
＜定 員＞ 各回16名(高校生以上の初心者対象)
＜講 師＞ 木下 泰嘉(きのした たいか：版画家)
毎年大人気の木下泰嘉先生による木版画教室です。
単色または2色摺りの年賀状をつくります。

＜申込方法＞

募集期間内(10月30日～11月11日)に町田市イベントダイヤルへ電話(042-724-5656・年中無休・7～19時・初日のみ正午より受付)。版画美術館HP内のメールフォームからも申込可。お申込みは1名につき1日のみとなります。応募者多数の場合、抽選。